

固定資産税 第3期分 は12月25日までに

市指定金融機関（市役所内神戸銀行）または、もよりの取り扱い銀行へ納めてください。打出徴収ボックスは12月25日（金）と26日（土—正午まで）開設し、市税その他の納付を受けつけます。

あしこ

毎月1回5日発行、全世帯配布
昭和39年12月5日 第181号 昭和29年1月25日第三種郵便物認可

発行所
兵庫県芦屋市精道町93
芦屋市役所
発行人 芦屋市長
編集 秘書課 広報係
印刷所 オール出版印刷株式会社
(定価 2円)

本市の推計人口

(11月1日現在)
総数 62,207
男 30,702
女 31,505
世帯数 15,508

園舎ができた小種幼稚園 白い明るい二階建て

園児はニッコリと初登園

ここの春に新設した市立第五番目の幼稚園「小種幼稚園」の園舎が、打出小種町にある市立図書館北隣りにできあがり、十二月四日に落成式がありました。

小種幼稚園では、これより早い十一月二十一日から引越しかかり、連休明けの二十四日から新園舎で保育を始めます。

まっ白な外壁、南側にめぐらしたバルコニー、明るい保育室、新しい教員、そして幼稚園ではじめての鉄筋コンクリート造り、二階建ての新園舎に登園する園児は百三十五人。

十一月二十四日の朝は、みんな遊戯室に集まって、園長先生からの説明や注意を聞いたあと、それぞれで精道、宮川、岩園の各幼稚園に分散していた園児と先生が互いにニッコリあひまう。それから、組ごとに先生の案内で全園舎内を見てまわりました。

まず一階西端からおよそ六十八平方メートルの保育室が二つ、便所、保健室が並び、玄関正面に給食室、その

こから右に応接室、職員室、浴室があります。二階も、やはり西側の二つは一階と同じ広さの保育室で、便所、廊下をたぐってステイジのある百三十二平方メートルの遊戯室という構造です。

バルコニーから直接、園庭へ続く階段も二カ所にあつて、こうした機能的な新園舎は、建物そのものが教材として活用できることによつて、

引っこしにはおかあさんの応援隊
十一月二十一日と二十二日の引越しの日は、幼稚園の先生と市教育委員会職員を応援して、百二十人

余りの園児のおかあさんが交響で奉仕くださいました。荷物を満載したトラックが到着すると、三人がかり、五人がかりで運びこみ、それが一段落つれば床そうじ、ガラスがききといった具合で、その骨身を惜しまぬ協力

写真 園舎
望の小種幼稚園新園舎
の登園する子供たち
(十一月十四日朝)

には厚くお礼申しあげます。なお、小種幼稚園の建築面積は約四百三十平方メートル、床面積は約六百六十平方メートルです。

また遊びにきてね
三幼稚園で楽しくお別れ会
小種幼稚園の園児百三十五人は、新園舎へ通うようになつて宮川幼稚園と二クラス七十九人、精道幼稚園と岩園幼稚園が一クラスずつの三十四人、二十八人と分散して保育を受けています。そこでこの三つの幼稚園では、さる十一月十九日、小種幼稚園のためにそれぞれお別れ会を催して送り出しました。お別れといつても一向にびたりこない、といった表情

見送られて帰る小種幼稚園園児



山手・宮川・岩園幼稚園では 創立30周年を祝う

五つの市立幼稚園のうち山手、宮川、岩園の各幼稚園がここの創立三十周年を迎え、山手は十一月二十日（上写真）、宮川は十二月一日、岩園は一日にそれぞれ記念式典を盛大に挙行しました。

市立幼稚園のあゆみ
明治44年10月1日 精道幼稚園が精道内に併設して開園。先生一人、園児六人。

昭和15年11月10日 市制施行で精道村から芦屋市立となる。昭和20年4月 戦争のため園舎が被災。この月の15日終戦。

昭和21年1月 保育再開。昭和28年4月1日 現青少年センター1の建物内に市立川西幼稚園創立。終戦後から独立園舎ができた。各園とも移転し、昭和29年4月1日 ミルク給食開始。昭和29年4月1日 精道は川西幼稚園に移り合併し市立精道川西幼稚園と称する。

昭和30年5月18日 浜町に宮幼の現園舎ができて独立。昭和31年3月28日 東芦屋町に山幼の現園舎ができて独立。昭和32年4月1日 川西幼稚園開園。昭和33年1月8日 精道町に精道幼稚園と称する。

現在の職員、園児数など
▽精道：小島園長、職員六、園児二百五十一、卒業生四千五百七十七
▽宮川：久野園長、職員七、園児二百八十一、卒業生三千六百九十四
▽山手：中島園長、職員五、園児二百七、卒業生二千六百四十八
▽岩園：坪田園長、職員四、園児百七十二、卒業生千七百七十六
▽小種：園長、職員四、園児百三十五

遊戯室で全園児の顔合わせ
遊戯室で全園児の顔合わせ

明くるゆつたりとした保育室

本年度から企業会計方式採用

上半期の純利益236万円

昨年、地方公営企業法が一部改正になり、本市の病院事業もことしの4月から同法の財務規定等の一部の適用をうけています。このため、市立芦屋病院では従来の官庁会計方式をやめ、企業会計方式を採用して事業の経理内容を明らかにするとともに、年度中に2回事業報告を公表することになりました。

昭和39年度上半期損益計算書

(昭和39年4月1日～9月30日 単位円)

I 営業収益	52,288,970	III 営業外収益	19,294,605
II 営業費用	63,928,797	上半期総利益	7,654,778
営業損失	△11,639,827	III 営業外費用	5,295,089
		上半期純利益	2,359,689

昭和39年度上半期貸借対照表

(昭和39年9月30日現在 単位円)

有形固定資産	252,670,256	固定負債	6,000,000
現金預金	14,327,348	未払金	11,759,362
未収金	10,139,652	その他流動負債	4,791,500
有価証券	4,260,700	自己資本金	128,837,307
貯蔵品	1,937,830	企業債	128,684,787
		資本剰余金	518,000
		利益剰余金	2,744,830
合計	283,335,786	合計	283,335,786

補充選挙人名簿の登録

申し出を年中受付

満二十歳以上の日本国民はすべて選挙権がありますが、選挙人名簿に登録されていないと選挙権を行使できません。この選挙人名簿には二種類あり、毎年九月十五日現在で選挙管理委員会が調査して調製する基本選挙人名簿と、選挙のある日に一定期間だけ補充登録申請をうけて調製する補充選挙人名簿とがあります。

補充選挙人名簿については、選挙法の改正で、芦屋市に住所を定めたる人は転入の日から、年齢満二十歳に達した人はそのときからいつでも、補充選挙人名簿の登録の申し出ができるようになりました。そして、登録の申し出をしておくと、選挙のある日従来のように補充選挙人名簿を調製します。その調製現在期日に審査した上、資格のあった人を補充選挙人名簿に登録します。

「登録の申し出」用紙・受付は市民課窓口です。申出者は本人に限られていますが、所定のことから説明できる同一世帯の者でもかまいません。しかし、はなごは個々に必要です。同一世帯の家族であれば同じ住所を使つてもかまいません。芦屋市に転入したときは、住民登録の手続きと同時に申し出手続きをしてくださる。

なお、申し出の後に、転出、市内移動、改姓などの変更があれば、市選挙管理委員会へご連絡ください。

法泉寺橋かけ替え

市内各所の工事も順調
平田橋に続いて、ここのは高座川中流にかかる法泉寺橋を永久橋にかけ替えるために、先月から工事を始めました。この橋は長さ十九メートル、幅三メートル、コンクリート造りの半分をかきあげて高く

市営第一種住宅 本年度の第一種住宅二十四戸は、打出塚ヶ丘町五番地に建設中です。建物は鉄筋コンクリート造り、三階建て一棟で、来年三月に完成します。

成人式を迎える方へ

間もなく案内状が届くはず
次に該当する人で、住民登録をしていながら12月18日をすぎても成人式の案内状が届かないときは、公民館へご連絡ください。

昭和19年4月2日から20年4月1日までの間に生まれた方
未登録の方は、登録をすませてから公民館へご連絡ください。
市立公民館 (市民会館)
薬平町74 電話 5236・4995

「火事の少なかったことし でも、こわいのは今から」

主婦たち 福島消防署長に聞く

火災予防運動のポスター画が消防署の前にならんでいる。日、三人の主婦が福島消防署長を訪れ、火の用心についていろいろ注意を聞いています。以下、その紙上録音です。

— 火の怖い季節になりましたが、このところ芦屋市内での火事はどんな様子ですか。

署長 ことしは幸い火災は少なく、例年の半分の数に落ちています。損害総額も一ケタ少ない百四十万円ほどになっています。

— 芦屋で火事など珍らしいと思っていました。それでも月に一、二回はあります。どんな原因が多いのですか。

署長 昨年以後のデータを見ますと、自動車の火災が目立ちました。家庭で起きたものでは、昨年八件も出ている子供の火遊びが筆頭です。マッチは小さな子供が取り出せないような場所に置く習慣に必ずして欲しい。万一、マッチにマッチがつかないように、二度と持たないよう厳重に注意する必要があります。それから、これは男のおとなの場合が多いのですが、たばこの吸いがらとマッチのすりかたの不始末による火事も多いですね。吸いがらにマッチを捨てる場合も、マッチのすりかたから火が残り、それが燃えついているのにボーッとすると、場所によって、場所によって、大事になります。

— たき火の不始末も多い。たき火をした人は、あつちでも石油ストーブにしようではないですか。

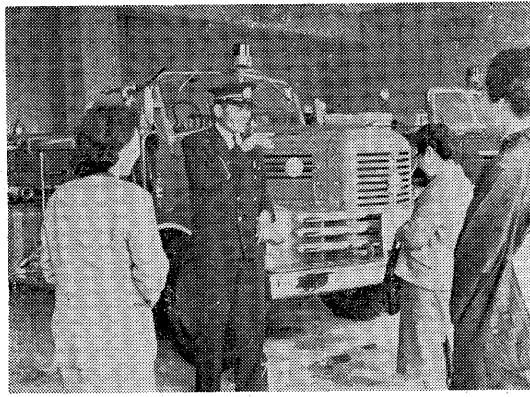
署長 タンクに油が残り少ないと、石油ストーブをつけただけで、給油する。これが一番危険です。それから、場所によっては、マッチのすりかたから火が残り、それが燃えついているのにボーッとすると、場所によって、場所によって、大事になります。

— 石油をたくさん買って置く必要はないですか。

署長 石油ストーブに使う白灯油はガソリンと同様に消防法で危険物ですから、百ポンド以上、石油をたくさん買って置く必要はないです。

— 石油をたくさん買って置く必要はないですか。

署長 石油ストーブに使う白灯油はガソリンと同様に消防法で危険物ですから、百ポンド以上、石油をたくさん買って置く必要はないです。



主婦たち、福島消防署長を訪ね、火の用心についていろいろ注意を聞いています。

新年とドロボウが そばまで参上しています

昨年中のどろぼうの被害額は全年度でなんと十五億円。「うちは今まで一度もどろぼうにはいられたことがない」「犬がいるからだ」「どろぼうの口は最近非常に進んでいまして、油断大敵です。」

本年一月から十月までの芦屋市における盗難件数は、六百三十三件に及びます。その内訳は、盗難品が四百四十四件、自転車と七十七件、現金が六十九件、衣類が二百三十三件、その他が二百三十三件。

— 盗難品が四百四十四件、自転車と七十七件、現金が六十九件、衣類が二百三十三件、その他が二百三十三件。

— 盗難品が四百四十四件、自転車と七十七件、現金が六十九件、衣類が二百三十三件、その他が二百三十三件。

ふえた 市内の交通事故死



第二回道は歩き道でも安全施設をお渡しください

これまで大都市に集中していた交通事故が、最近はその周辺都市に及んできました。これは全国的な傾向ですが、わが芦屋市の場合も顕著にあらわれています。本年十一月三十日までの交通事故は六百九十九件、死者十三人、負傷者二百八十八人となっており、昨年同様に比べて、死者が五人もふえています。

— 死者が五人もふえています。

— 死者が五人もふえています。

意外、芦屋っ子の被害が 一カ月余で464人も

夏の実態調査の集計から

多角的に青少年問題に取り組んでいる市教委では、青少年が受ける大小の被害を防ぐ一方、背景を分析して青少年の非行化対策をたてようとして「青少年の被害実態調査」をこの夏に行ないました。先頃その集計がまとまりましたので、ここに紹介します。

— 先頃その集計がまとまりましたので、ここに紹介します。

— 先頃その集計がまとまりましたので、ここに紹介します。

お酒飲んだら運転やめよう 横断歩道は手をあげて

年末年始も、酒を飲んだら運転はやめよう。横断歩道は手をあげて。これは、酒を飲んだら運転はやめよう。横断歩道は手をあげて。これは、酒を飲んだら運転はやめよう。横断歩道は手をあげて。

— 酒を飲んだら運転はやめよう。横断歩道は手をあげて。

— 酒を飲んだら運転はやめよう。横断歩道は手をあげて。

「乱暴された」「おどかさされた」「いやらしこいとを」

— 「乱暴された」「おどかさされた」「いやらしこいとを」

— 「乱暴された」「おどかさされた」「いやらしこいとを」

先月の市内交通事故		11月1日～30日		1月の累計	
事故者	62人	62人	609人	609人	609人
死者	0人	0人	13人	13人	13人
負傷者	32人	32人	286人	286人	286人

加害者は年上やおとな、被害者は年下の子供が多い。これは注意すべきです。誰にも知らせなかつた「百四十人」が七十五人もいます。親にも学校にも知らせなかつた理由は、加害者のおとな以外に、被害者の体面や恥をかきたくないというものが大きい作用を及ぼしている。

— 加害者は年上やおとな、被害者は年下の子供が多い。

— 加害者は年上やおとな、被害者は年下の子供が多い。

愛の年末 希望の年始 みんなで育てる若い人

毎月第3日曜日は まちをもっと美しくする日 12月は20日です。

寒さの中で困窮と戦っている人のため、芦屋市社会福祉協議会では愛の持ち寄り運動を展開中です。衣料・日用品などでも結構ですが、なるべく現金を、12月25日までに市役所厚生課へお持ちください。

12月21日～1月15日は 年末年始の 青少年育成運動

どの子にも だれもが 親の気になって

になり勝ちです。正しい目と強い信念で子供の指導に当たります。

自分の子さえよければ...という考えでは、かえってその子の不幸となります。

たしなめる 勇気もあって よい仲間

友だちが悪いことをしても見ぬふりをしていない子供ばかりだと、よい仲間といえません。お互いに勇気と責任を持ちましょう。

いま一度 わが子に 目と心

「うちの子に限って...」の先入観は、灯台もと暗し。

祝日に国旗を

1月には国民の祝日が2回あります。元日と成人の日です。各戸に残らず国旗を掲げて慶祝しましょう

わたしたち芦屋市民は、健康で明るく幸福なまちをつくりましょう。わたしたち芦屋市民は、青少年の夢と希望をすこやかに育てましょう。

